



射水商工会議所報

CCIいみず

1

2026.JANUARY vol.820

謹賀新年

本年もよろしくお願いいたします



CONTENTS

P2-4 年頭所感

射水商工会議所	会頭	牧田 和樹
日本商工会議所	会頭	小林 健
射水商工会議所青年部	会長	小金澤拓也
射水商工会議所女性会	会長	小杉奈津子

常議員会

会員の加入について

P5 青年部だより

P6 インフォメーション

主な公的融資制度の利率
高岡法人会記事
新入職員挨拶
令和7年分の確定申告について

旬なお知らせは
こちらよりご覧ください
▶▶▶HP



年頭のご挨拶

射水商工会議所 会頭 牧田 和樹



令和8年の新春をお健やかに迎えられ、謹んでお慶び申し上げます。

さて、わが国の人口は平成20年をピークに減少に転じ、それより一足早く射水市は平成17年を境に減少局面に入りました。恐らく、今後も人口減少は加速するとみられ、とりわけ地方においては人口動態上の氷河期を迎えています。人口減少が地域経済に及ぼす影響は、一言でいうならば「数を頼む」ことができないことです。人口という数が減る以上、経営において売上を確保するためには単価を上げる以外にすべはなく、いわゆる付加価値を創出するしかありません。これは地域経済においても同様で、数を追うのではなく、質を高めることに注力すべきであることを示唆しています。

では、いかにして付加価値を生み出すのか。一つのヒントを与えてくれたのが10月1日の放生津曳山まつりでした。曳山につながる人々と観る人々、その双方を包み込む独特の空気は、祭り以外ではなかなか感じる事のない一体感を生みます。人と人となつながらことでコミュニティが形成され、お互い

が思いやり、共感し、信頼し合うことで上質な人間関係が構築されるのです。この上質な人間関係が担保されたコミュニティは、上質な価値を有することとなり、県外はもとより、海外からも「人・物・金」を集める力を持ちます。

昨今のSNSの急速な浸透により、いつでもどこでも人々が簡単につながることができる世の中であるからこそ、人々は顔の見える人間関係の構築を求めています。むしろ、バーチャルな世界が身近になればなるほど、人々は祭りのようなりアルな世界に価値を見出していくのかもしれませんが。思いやり、共感し、信頼し合える人間関係がベースになれば、すべてのコミュニティが上質感を生み出すことはできません。これまで、「いみず塾」を通して論語に親しんできたのは、孔子の教えに「恕」という思いやる心が通底しているからに他なりません。

年頭にあたり、上質なコミュニティの形成をめざし尽力してまいりますので、会員各位には何卒倍旧のお引き立てを賜りますようお願い申し上げ、併せて今後益々のご隆盛をご祈念申し上げます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

議 監
員 事

常 専 副
議 務 会
員 理 頭
事

窪	明	船	板	山	川	和	加	加	倉	原	片	松	野	酒	荒	谷	笹	鷺	伊	白	相	高	牛	黒	要	橋	清	酒	下	川	片	小	石	三	牧
田	野	木	倉	岸	開	田	治	治	谷	田	岡	田	村	井	木	内	谷	北	藤	田	川	山	島	谷	藤	本	水	井	野	波	岡	杉	灰	箇	田
壽	寛	雄	直	裕	秀	定	義	泰	治	良	和	一	幸	昭	光	克	泰	昌	雅	善	盛	茂	俊	幹	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
文	昭	肇	治	人	司	格	夫	勝	勝	夫	人	男	範	広	義	治	子	雄	雄	己	範	登	聡	暁	功	文	門	政	治	一	夫	彦	友	洋	樹

事務局職員一同

(順不同・敬称略)

井	塩	二	中	鷺	氷	岡	作	中	川	南	奥	加	石	明	米	板	新	福	竹	野	越	本	石	木	下	加	児	谷	吉	越	片	木	越	西
坂	谷	口	野	塚	見	本	道	瀬	口	口	谷	治	灰	石	田	谷	川	田	内	村	後	郷	倉	谷	保	治	玉	内	村	後	口	村	後	野
理	一	傑	岳	慎	慎	良	康	裕	貴	貴	伸	達	功	あ	大	達	篤	千	一	勇	雅	勝	尚	晋	隆	功	治	孝	幸	正	敏	龍	嘉	耕
恵	郎			太郎	司	幸	人	喜	之	浩	吉	章	一	い	樹	也	志	尋	人	喜	俊	士	聡	也	隆	功	治	孝	幸	正	敏	龍	嘉	耕

変革と価値共創による日本経済の再出発

日本商工会議所 会頭 小林 健



明けましておめでとうございます。
2026年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

【成長の果実を賃金や投資へ】

さて、昨年の世界情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化といった地政学リスクに加え、関税・輸出管理・産業補助・投資審査などが複合的に作用し、通商環境の再編が進行するなど、不確実性が一段と高まった一年でありました。

国内に目を向けますと、日本経済は賃金と物価の好循環に向けた兆しが明確になりつつありますが、依然として物価上昇に賃金が追いつかず、実質賃金の着実な回復が最大の課題です。長年にわたり染み付いたデフレマインドを払拭し、成長の果実を賃金や投資へ確実に循環させることこそ、日本経済の「再出発」に向けた最大の鍵であります。

こうした中、国政においては、憲政史上初の女性総理として高市総理が誕生し、就任直後からトランプ米大統領をはじめ各国首脳との会談を精力的に行い、首脳間の信頼醸成に努めてられました。また、高市総理が議長を務める「日本成長戦略会議」におきましても、AI・半導体、造船、量子など17の戦略分野への投資に加え、人的資本の強化、労働市場改革、スタートアップ支援、賃上げ環境整備など、将来の成長力を高める政策課題が明確に示されました。国の成長戦略と歩調を合わせつつ、民間の現場から具体的な提言と実行を積み重ねていくことが、私どもの責務であります。

【成長型経済への転換を確固たるものに～「変革」と「価値共創」】

わが国の経済は、成長型経済への移行に向けた正念場を迎えています。しかし、企業数の99.7%、雇用の約7割（3大都市圏を除くと約9割）を占める中小企業は、円安・原油高に伴う原材料・エネルギー価格などの高騰、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確固たるものとするためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これからの日本経済を支える基盤になると確信しています。

【「変革と価値共創による日本経済の再出発」に向けた三つの重点課題】

こうした考えから、私は今期のスローガンとして「変革と価値共創による日本経済の再出発」を掲げました。このスローガンの下、以下の3点を重点課題として当所の運営に取り組んでまいります。

1点目は「成長型経済の実現に向けた環境整備」です。成長型経済を実現するには、コストプッシュ型インフレから、需要拡大によるデマンドプル型インフレへと転換し、賃金と投資の好循環を持続させる必要があります。そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、賃上げ原資を確保する観点から官民を挙げて一層強化すべき課題です。加えて、経済安全保障とエネルギー安全保障の両立、過度な円安の是正に向けた金融政策、人手不足への対応、持続可能な全世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となって取り組まれることを心より期待いたします。

【「現場主義・双方向主義」の発展】

私は「原点は対話である」という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の生の声を伺い、各地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は「現場主義・双方向主義」をさらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

射水商工会議所青年部 会長 小金澤 拓也



あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は青年部活動に対し、格別のご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

令和7年度は「共創～現在（いま）を刻み未来を拓く～」をスローガンに掲げ、これまでにない新たな事業にも取り組んでまいりました。若い担い手不足の解消を目指し、地元で働くことの魅力を伝える高校での出前授業。関わるすべての人が主役であり、「射水をつなぐ」ことを通じて射水の未来とともに創るきっかけの場とした主催フェアの開催。さらに、県外での活動に合わせて各地で行った射水市

PR事業。いずれも、商いを主軸に地域活動を行う私たち青年部が、時代とともに変化していくことで成し得たものだと実感しております。

これらの活動は小さな一歩ではありますが、必ず次代につながる一歩となり、現在（いま）に全力で向き合うことで地域の未来が拓けていくと確信しております。

皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が幸多き一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

射水商工会議所女性会 会長 小杉 奈津子



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

平素は女性会の事業運営に対し、ご理解ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年5月の総会において、会員の皆さまより三期目となる会長の任を改めてお預かりし、気持ち新たにスタートいたしました。

7月には県連視察研修会（黒部女性会主催）としてYKKセンターパークや宇奈月町を訪問し、女性会会員でもある宇奈月温泉のおかみさんの方々を始め黒部女性会の皆様のあたたかいおもてなしを受け、地域の特性を生かした女性会活動の在り方、お客様を喜ばせる心を学びました。9月には、大変暑い中ではありましたが大阪・関西万博を視察し、さらに戒橋筋商店街を訪問し商店街振興の取り組みについて説明を受けました。外国人観光客の増加と共

に外国人による出店が増えた事による様々な問題点や課題、それに対する取り組みなど次代の地域経済を見据えた刺激の多い視察となりました。

11月には、いみず苑祭においてバザーを開催し、収益の全額をいみず苑へ寄贈いたしました。地域福祉に少しでも貢献できたことを大変嬉しく思いました。同月には水引セミナーも開催し、伝統工芸・伝統文化に触れるとともに会員同士の交流もさらに深まったのではないのでしょうか。

本年も会員の皆様のお役に立てる企画、地域に貢献できる企画等役員の皆様と共に考え、より良い女性会を目指し進んで参ります。

本年は「午年」です。駆け抜ける馬のように、本年も皆様にとりまして活気ある幸多き年になりますようお祈り申し上げます。

12月度

常議員会を開催

12月15日 常議員会を開催しました。議案第1号参与の委嘱、議案第2号会員の加入について審議され、可決されました。

会員の加入について（令和7年9月～11月）

新加入 会員

No.	事業所名	代表者名	所在地	業種
1	(株)SNプロジェクト	中沖 天	射・庄西町2-17-16	飲食店
2	O S A N P Oベーカリー	五十嵐亜紀	海老江練合490-4	パン・菓子製造販売
3	カサハラ ワークス	笠原 大貴	八幡町	撮影業

特別 会員

No.	事業所名	代表者名	所在地	業種
1	キッチンカー俺ん家	堀 剛輔	富・犬島新町2丁目8-3	キッチンカー
2	むすびや	燕昇司直人	砺・五郎丸558-8	キッチンカー
3	でいさーびす和の郷内あおぞらホーム(株)	糸岡 利枝	氷・川尻271-1	福祉施設
4	(株)ドアメンテナンス	水口 猛史	富・水橋二ツ屋118	建具工事業

青年部 だより

放生津小学校跡地利活用検討事業

11月24日(月・祝)、旧放生津小学校にて跡地利活用検討事業の一環として、第3回「みんなの学校 Vol.3 ～まちとつながる作戦会議～」が開催されました。6月、10月に続く3回目の開催となり、これまでの利活用に向けた取り組みの紹介やサウンディング結果の共有、地域の方々とのトークセッション、他市における廃校利活用事例の紹介などが行われました。射水YEGからは会員5名が参加しました。会場では、地域住民の「こうなったらいいな」「こんなことができれば楽しそう」といった声が飛び交い、今後の可能性を感じる場となりました。

今年度は射水YEGとしても、射水市公共施設マネジメント推進課の皆様と民間提案制度の活用に関する勉強会を全4回実施しました。地域の持続に向けた重要な課題の一つとして、今後も継続して取り組んでいく必要性を強く感じました。



日本商工会議所青年部

第43回全国リーダーズ研修会 愛知岡崎会議



社業や青年部活動、地域活動に活かせる先進的な学びが数多く得られました。普段とは異なる環境で学ぶことで、理解をより深めることができました。



11月28日(金)から29日(土)にかけて、愛知県岡崎市にて開催された全国リーダーズ研修会に参加しました。これまで「全国会長研修会」として開催されていた本事業は、今年度より「全国リーダーズ研修会」と名称を変更し、会長に限らず全会員を対象とした研修会へと発展しました。「日本(地域)の理想を起点に大局的思考をし、公の精神で自発的に行動する人材」をテーマに、次代のリーダーとして備えるべき資質を掲げ、13の分科会と17の研修会が開催されました。延べ5,081名の登録があり、オンライン配信やアーカイブ配信など、時代に即した運営も行われていました。

会員親睦委員会事業

「射水の冬 ドリームクリスマス」

11月8日(日)、毎年恒例の家族親睦クリスマスパーティー「射水の冬 ドリームクリスマス」を第一イン新湊別館にて開催しました。会員同士および会員家族との親睦を深めるとともに、青年部活動に理解を示し、温かく送り出してくれる家族への感謝の気持ちを込めて企画しました。クリスマスツリーの飾り付けから始まり、ステージ上での全力タワーゲーム、吹奏楽によるクリスマスメドレーの演奏、プレゼント抽選会やじゃんけん大会など、盛りだくさんの内容で、終始笑い声の絶えない時間となりました。

年々子どもたちの期待も高まる中、100名を超える参加者が終始笑顔で過ごすことができました。



その他 の活動

- 11月23日 ▶ 福井YEG・北陸信越ブロックYEGサッカー合同練習会(コマツドーム屋外グラウンド)
- 11月24日 ▶ 富山県呉西交流会ゴルフ交流コンペ(太閤山CC)
- 11月30日 ▶ 呉西4四単会ゴルフ交流会(花尾CC)
- 11月30日 ▶ 射水福祉会 いみず苑 開苑30周年記念式典・記念講演会(いみず苑ひだまり)
- 12月19日 ▶ 新湊ロータリークラブ「年忘れ家族懇親会」(第一イン新湊別館)

青年部
Facebook



青年部
Instagram



@IMIZUYEG

金融関係

主な公的融資制度の利率

(令和8年1月1日現在)

資金名	利率(年)
日本政策金融公庫 (国民生活事業)	マル経融資 2.10%
	普通貸付 2.00~4.50%
富山県	小口事業資金 1.80%以内
射水市	中小企業振興資金 1.80%以内

公益社団法人 高岡法人会

決算期別研修会

日時 令和8年3月4日(水)
14:00~15:30

場所 高岡商工ビル4階会議室

講師 高岡税務署担当官

テーマ 「決算・申告における主な注意点」

定員 40名 ※事前に申込みが必要です
ホームページ <https://www.houjin-takaoka.com/>
をご確認の上、お申し込みください
(ただし定員になり次第締め切らせていただきます)

入場
無料

公益社団法人 高岡法人会 TEL 23-8855
FAX 26-1216



今後の予定

1/13 青年部理事会

1/16 正副会頭会議

1/16 新年経済懇談会

1/17 青年部 射水キッズわくわくワーク(お仕事体験イベント)

1/20 クロスベイ新湊管理組合定例会

1/28 青年部執行部会議

2/3 正副会頭会議

2/5 いみず塾「大人のための論語」

2/8 珠算検定・段位認定試験

2/10 射水市商工協議会「市との意見交換会」

2/10 青年部理事会

New



新入職員挨拶

12月1日より入所いたしました、経営支援課主事の油谷真利と申します。

入所して間もないですが、温かく迎えていただき、日々充実した気持ちで業務に取り組んでおります。新しい環境の中で多くを吸収し、少しでも早く戦力となれるよう精進してまいります。地域の皆様のお力になれるよう励んでまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

令和7年分の確定申告について

自宅等からのe-Taxが便利です。▶▶▶税務署の申告会場は大変混雑します

Point 1 スマホのカメラで給与所得の源泉徴収票を撮影すると、自動で申告内容に反映します。

Point 2 青色申告決算書・収支内訳書の作成、消費税の申告書・贈与税の申告書の作成にも対応しています。

Point 3 マイナポータルとの連携で自動入力できる情報があります。(公的年金などの源泉徴収票、国民年金保険料など)

国税庁確定申告書等
作成コーナー



入力画面が
見やすくなりました!

国税庁LINE公式アカウントをご利用ください!!

国税庁LINE公式アカウントの追加



→税に関する各種情報を調べることができます(タックスアンサー、チャットボット、国税庁Youtubeチャンネル等)。

→ニーズに合った情報を受け取ることができます。

「確定申告書等作成コーナー」の使い方に関するお問合せ(事前準備、送信方法、エラー解消など)

e-Tax・作成コーナーヘルプデスク 0570-01-5901(全国一律市内通話料金)

受付時間 平日9:00~17:00(土日祝日および12月29日~1月3日を除く)

※受付時間は時期により延長する場合がありますので、最新の情報をe-Taxホームページでご確認ください。

※上記の電話番号がご利用できない場合などは、03-5638-5171をご利用ください(通常の電話料金となります)。

高岡税務署